

みなかみ
シェアサイクル

令和5年度 実証実験 最終報告

みなかみ町 企画課 企画調整係

令和5年12月



1 実証実験概要

1-1 実証実験の目的

- (1) 水上温泉街周辺において、観光客や地域住民の交通手段を確保し、回遊性と満足度を高める。
- (2) 実証実験として利用状況等を把握し、シェアサイクル導入の可能性を調査する。

1-2 実施体制

- (1) 実施主体：みなかみ町
- (2) 運営会社：ecobike株式会社




1-3 概要

- (1) 実施エリア：水上温泉街周辺
- (2) ポート：
 - ・ JR水上駅
 - ・ 源泉湯の宿 松乃井
 - ・ みなかみホテルジュラク
 - ・ ふれあい交流館
 - ・ 道の駅 みなかみ水紀行館
- (3) 自転車(電動アシスト付き自転車)：32台
- (4) ラック数：64台分
- (5) 利用方法：
 - 専用アプリを利用し、貸出・返却及び決済を行う。
- (6) 調査期間：令和5年4月1日(土)~11月30日(木)
- (7) 料金：15分につき50円、8時間上限1,000円(税込)

1 実証実験概要(MAP)


JR水上駅前

水上温泉の玄関口。駅前には、土産品店や飲食店などの商店が軒を連ねます。近くにはSL駐車場があり、SL到着後に方向転換する回廊風景や整備作業の様子を間近に見学することができます。




水上温泉街

水上駅から約1km南側にある温泉街。名湯を楽しむホテルや旅館はもちろん、地元産の農産物を使ったメニューを楽しむレストランや居酒屋など、個性豊かなお店がたくさん集まっています。




道の駅 みなかみ水紀行館


地元産の農産物を販売する直売所や、利根川水系の深山水魚を展示する小さな水族館、クラミング施設や足湯などを備えた道の駅。隣接する清流公園では水遊びが楽しめるなど、家族で自然を満喫できるスポットです。



温泉エリア



250m




ポート設置場所

① JR水上駅

🚲

群馬県利根郡みなかみ町 直野沢

サイクルラック数	営業時間
16台	24時間




② 温泉湯の宿 松乃井

🚲

群馬県利根郡みなかみ町 湯原551
※ホテル宿泊客以外もご利用頂けます

サイクルラック数	営業時間
12台	24時間




③ みなかみホテル ジュラク

🚲

群馬県利根郡みなかみ町 湯原665
※ホテル宿泊客以外もご利用頂けます

サイクルラック数	営業時間
12台	24時間




④ ふれあい交流館

🚲

群馬県利根郡みなかみ町 湯原801

サイクルラック数	営業時間
8台	24時間




⑤ 道の駅 みなかみ水紀行館

🚲

群馬県利根郡みなかみ町 湯原1681-1

サイクルラック数	営業時間
16台	24時間



※変更となる場合があります。最新の情報はこちらの公式ホームページをご確認ください。

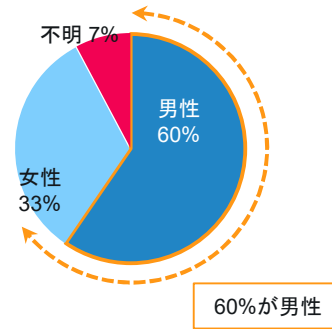
2 利用状況

2-1 利用状況（全体像）

実証実験期間（令和5年4月1日～11月30日の244日間）の利用回数は合計2,351回であった。利用者を男女別で見ると、男性が60%を占めている。また、年齢別の利用回数では20代の利用者が1番多く、次いで30代の利用者が多かった。20～50代の利用者が総利用回数の75%を占めている。

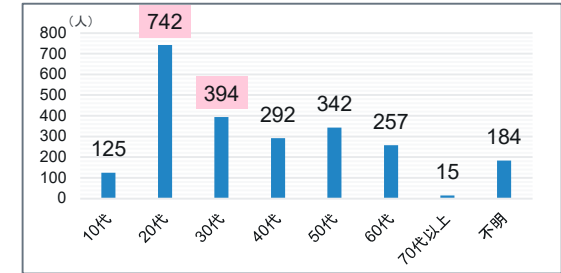
日別利用回数では15回以上の利用があった日数は54日間で、うち休日が40日間であった。また、平均利用時間は67分08秒であり、他自治体（31分4秒）と比べて利用時間が非常に長い傾向にある。

利用者の性別

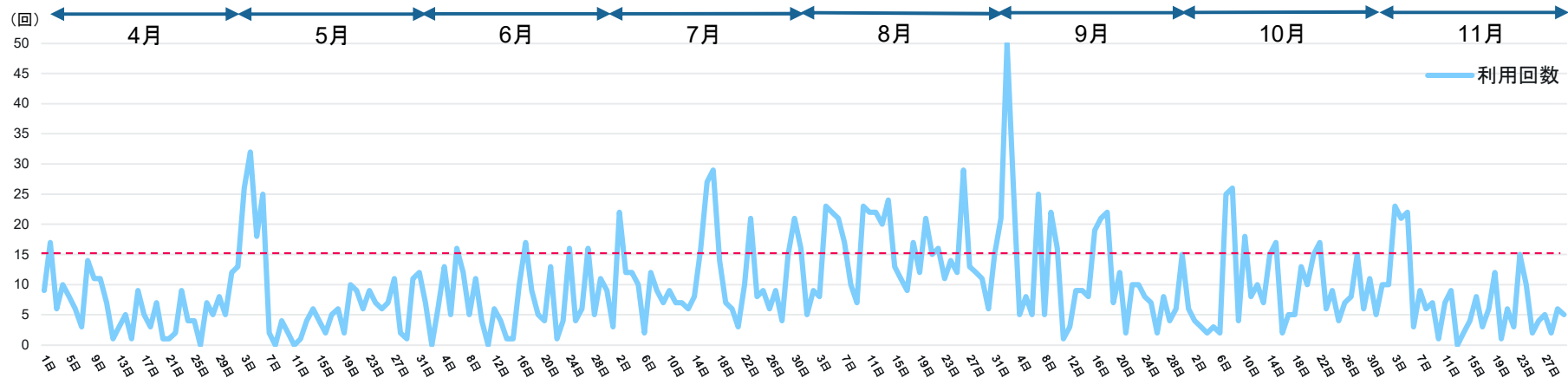


60%が男性

年齢別利用者数



日別合計 利用回数



2 利用状況

2-2 平日・休日別利用状況

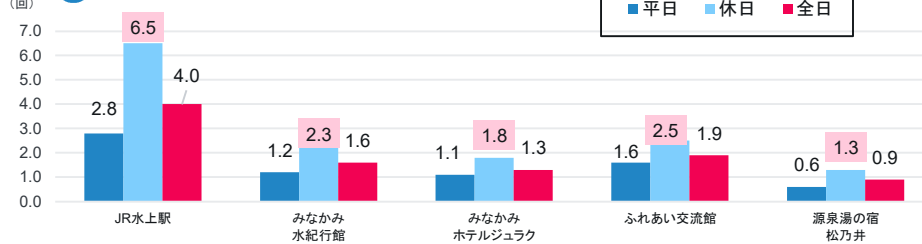
利用実績を日別にみると、平日に比べて休日の平均利用回数が多い結果となった。

さらにサイクルポート別では、「JR水上駅」の休日の平均利用回数は平日の約2.3倍、「源泉湯の宿 松乃井」は約2.2倍であった。併せて、全ポートで休日の平均利用回数が平日を上回っていることから、観光を目的に利用が伸びていると推測される。

平日・休日別 1日あたりの利用回数

	日数 (日)	総利用回数 (回)	日平均利用回数 (回/日)	回転数 (回/台・日)
平日	165	1,214	7.4	0.23
休日	79	1,137	14.4	0.45
全日	244	2,351	9.6	0.30

1日あたりの平均利用回数

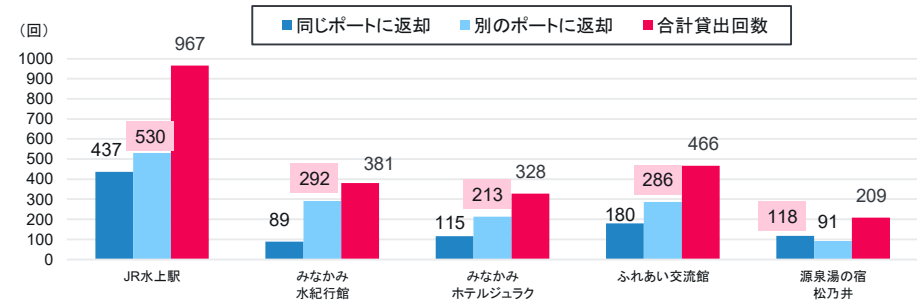


2-3 エリア別利用回数

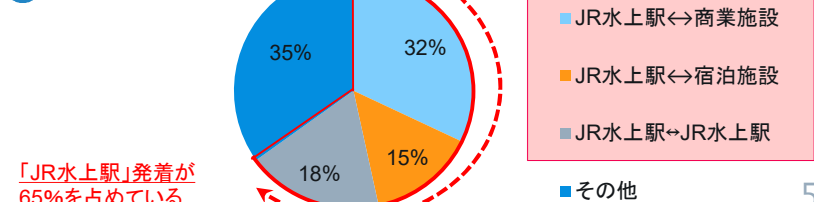
ポート別で貸出と返却の回数を見ると、4つのポートで貸出場所と別のポートに返却されている回数が多い。

また、全トリップ数のうち65%が「JR水上駅」を起着点とした利用であり、公共交通機関の補完機能を果たしていると考えられる。

ポート別 貸出返却回数



トリップパターン



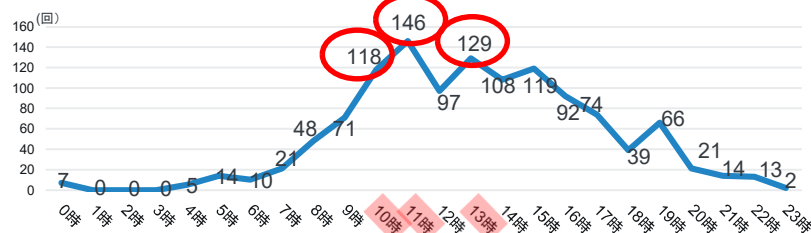
「JR水上駅」発着が65%を占めている

2 利用状況

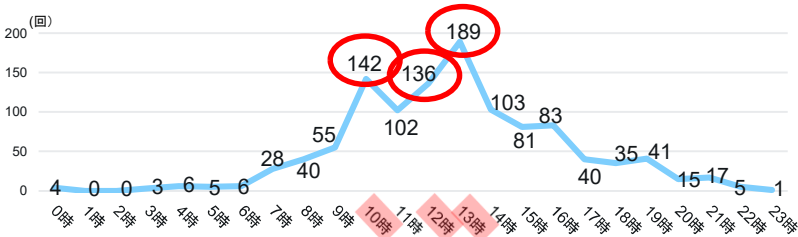
2-4 時間帯別利用状況

貸出回数を時間帯別に見ると、平日休日ともに「10時～13時」の利用が最も多く、観光や周遊目的の利用が多いと推測される。

平日の時間帯別利用回数



休日の時間帯別利用回数



2-5 利用時間の推移

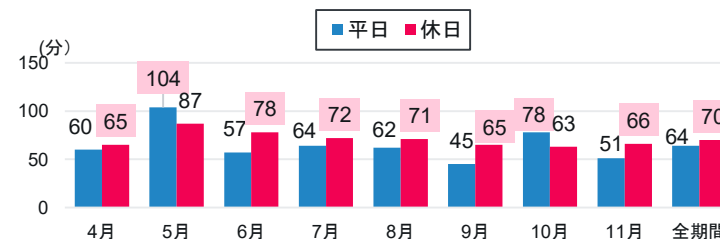
平均利用時間は67分08秒であった。平日の利用は30分以内が多く、通勤や日常の移動手段としての利用が多いためだと推測される。

平日と休日の利用状況を比べると、休日が平日の利用時間を上回っている。平日と休日の利用者では、利用者の属性や目的が異なることが考えられる。

利用時間の構成比

	利用時間			構成比		
	平日	休日	計	平日	休日	計
30分以内	634	548	1,182	52%	48%	50%
30分以上	580	589	1,169	48%	52%	50%
計	1,214	1,137	2,351	100%	100%	100%

月別平均利用時間の推移



3 アンケート

3-1 調査概要



調査目的

みなかみシェアサイクルについてアンケートを行い、本格導入に向けての有効性と課題の検証を目的とする。



調査時期

令和5年8月1日(火)
～11月30日(木)の122日間



調査対象

調査期間内にみなかみシェアサイクルを利用した会員を中心にアンケートを行った。



調査項目

- ①属性（年齢、性別、住まいの地域）
- ②シェアサイクルの利用状況（利用目的、利用頻度、利用の前後の変化 など）
- ③シェアサイクルに対する意見（満足度、今後の要望 など）



回答状況

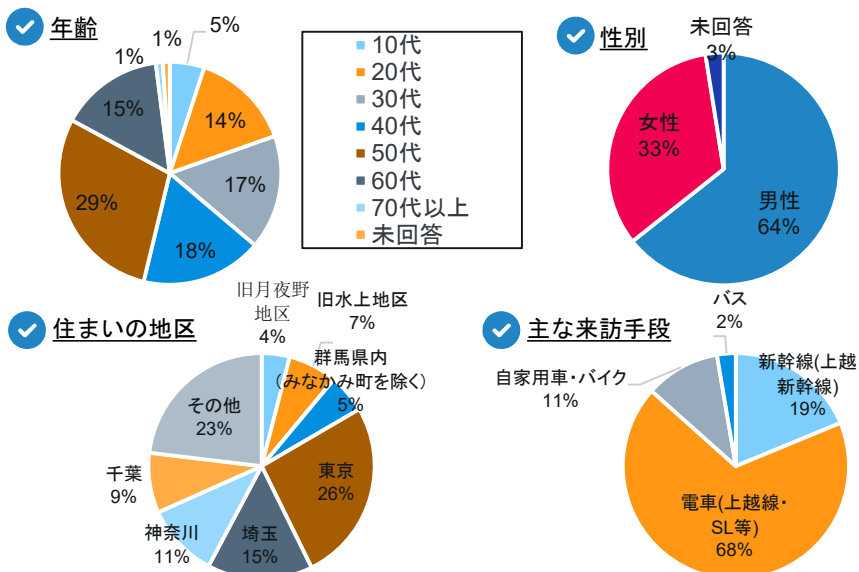
回答者数：199名
※令和5年8月1日(火)～8月31日(木)の期間限定で、回答者に「最初の15分利用無料サービス」を実施。

3 アンケート

3-2 回答者の属性

回答者の年齢は、「50代」が29%と最も多く、次いで「40代」が18%であった。性別は、「男性」が64%、女性が33%、未回答が3%である。

住まいの地区は、「東京」が26%と最も多く、次いで「埼玉」が15%であった。主な来訪手段は、「電車(上越線・SL等)」が68%と最も多く、次いで「新幹線」が19%であった。

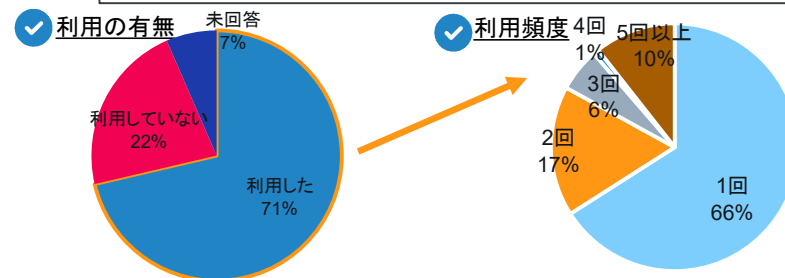
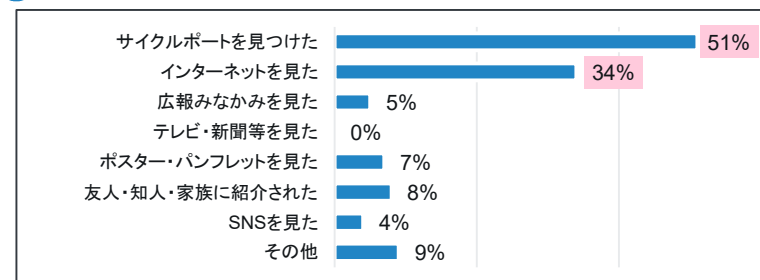


3-3 利用状況

シェアサイクルを知ったきっかけは、「サイクルポートを見つけた」が51%と最も多く、次いで「インターネットを見た」が34%であった。

利用の有無に関わらずアンケートを行ったが、利用した人が71%で、利用していないという人が22%であった。

シェアサイクルを知ったきっかけ (複数回答可)



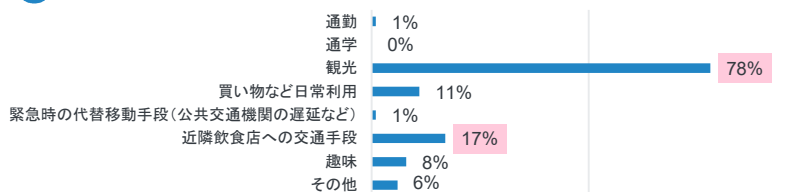
3 アンケート

3-3 利用状況

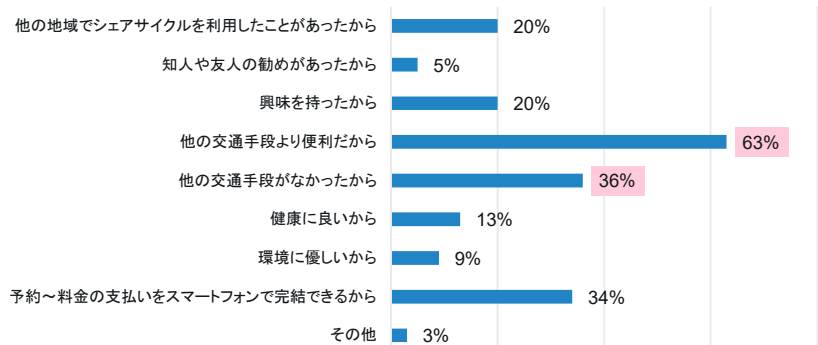
利用目的では、「観光」が78%と最も多く、次いで「近隣飲食店への交通手段」が17%であった。

利用した理由については、「他の交通手段より便利だから」が63%で最も多く、次いで「他の交通手段がなかったから」が36%であった。

利用目的（複数回答可）



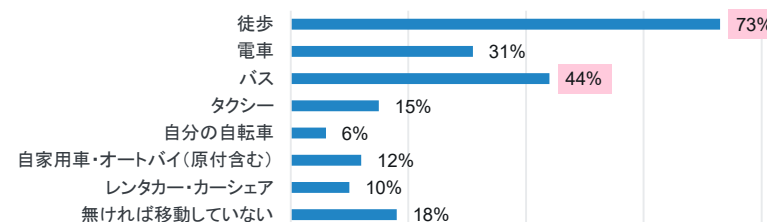
利用した理由（複数回答可）



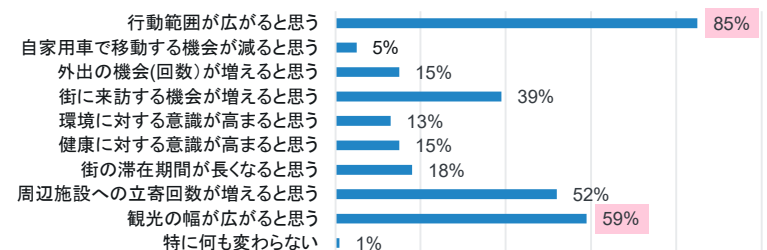
シェアサイクルが無い場合の交通手段では、「徒歩」が73%と最も多く、徒歩圏内の移動手段として利用されることが多いとわかる。

また、シェアサイクルによって期待される行動として、「行動範囲が広がると思う」が85%で最も多く、次いで「観光の幅が広がると思う」が59%であった。

シェアサイクルが無い場合はどのような交通手段を利用するか（複数回答可）



シェアサイクルによって期待される自身の行動の変化（複数回答可）

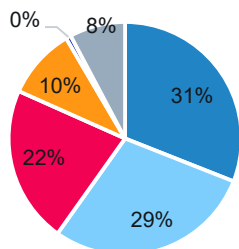


3 アンケート

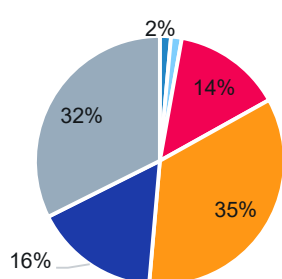
3-3 利用状況

シェアサイクルで移動したい距離（最短）では、「5分程度」が31%で最も多く、次いで「10分程度」が29%であった。
 シェアサイクルで移動したい距離（最長）では、「30分程度」が35%で最も多く、次いで「1時間以上」が32%が多かった。

✓ シェアサイクルで移動したい距離（最短）



✓ シェアサイクルで移動したい距離（最長）

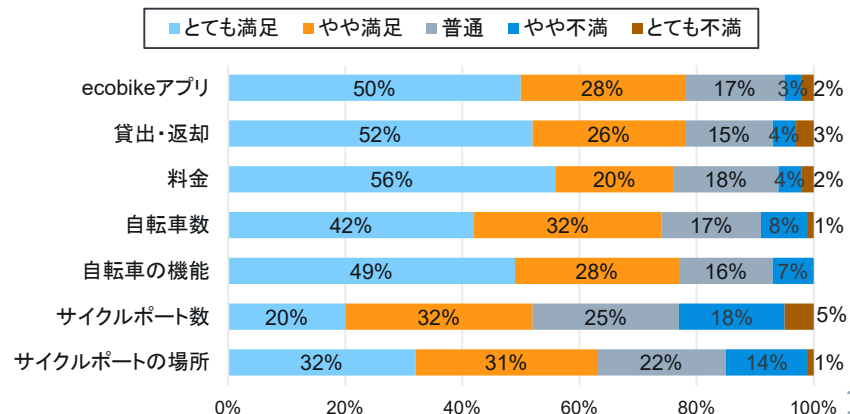


- 自転車5分程度
- 自転車10分程度
- 自転車15分程度
- 自転車30分程度
- 自転車45分程度
- 自転車1時間以上

3-4 シェアサイクルへの意見

利用者の評価では、「ecobikeアプリ」「貸出・返却」「料金」「自転車数」「自転車の機能」の項目については、およそ8割の人が「とても満足」もしくは「やや満足」と評価した。
 一方、「サイクルポート数」「サイクルポートの場所」の項目については、「とても満足」もしくは「満足」と評価した人は約6割にとどまり、「普通」もしくは「やや不満」が約4割であった。

✓ 利用評価



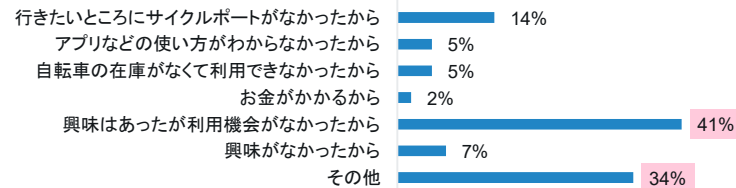
3 アンケート

3-4 シェアサイクルへの意見

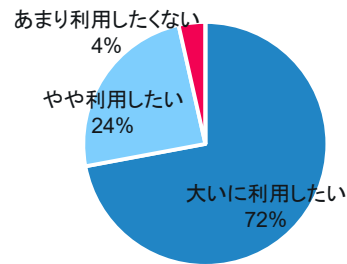
シェアサイクルを利用しなかった人では、「興味はあったが利用機会がなかったから」が41%を占めており、次いで「その他」が34%であった。

今後利用したいか、という質問には「大いに利用したい」「やや利用したい」と答えた人が96%であった。

✓ シェアサイクルを利用しなかった人限定質問 利用しなかった（できなかった）理由（複数回答可）



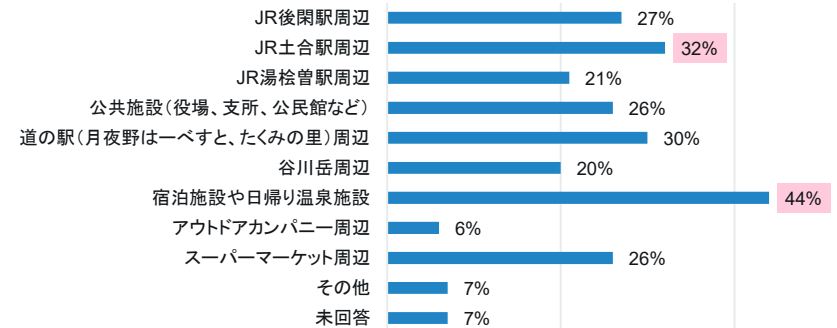
✓ 全員質問 今後シェアサイクルを利用したいか



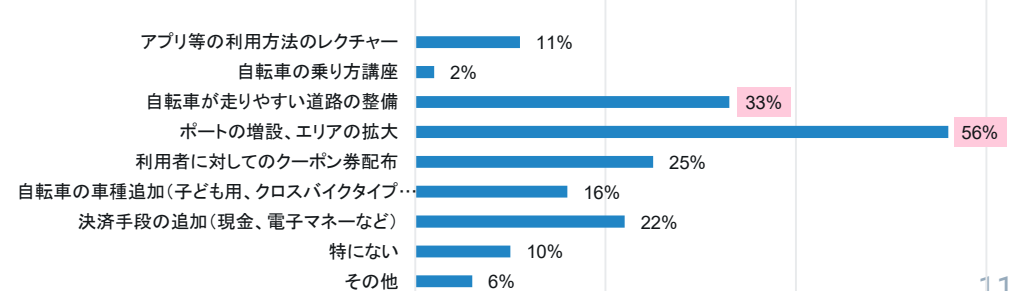
シェアサイクルを増やして欲しい場所では、「宿泊施設や日帰り温泉施設」が44%で最も多く、次いで「JR土合駅周辺」が32%であった。

利用できる（利用回数が増える）支援については、「ポートの増設、エリアの拡大」が56%で最も多かった。

✓ 今後サイクルポートを増やして欲しい場所（複数回答可）



✓ どのような支援があれば利用できる（利用回数が増える）か（複数回答可）



3 アンケート

おかげさまで時間を有効活用した観光ができました。車では味わえない爽快感や景色、空気を感じることが出来ました。近年は免許の無いひとり旅の人、地方に行く人も増えてきているので、是非大々的に宣伝し継続していただきたいです。

とても素敵な企画だと思います。みなかみはアップダウンが多いのでecobikeはとても重宝します。魅力あるみなかみをより多くの方が訪れやすくなるとよいと思います。気軽に街を探索でき自由に誰もが行き来できるように、一段と工夫していただければと思います。

電車の待ち時間にふらっと散策出来るのは良い。公共交通機関が少ないのでありがたい。

サポートセンターの対応が素晴らしかった。

2次元コードを読み込んでも解錠されることが多かった。

圏外で施錠すると解錠できなくなる。

サイクルラックの横幅が狭く、隣の自転車に引っかかる。

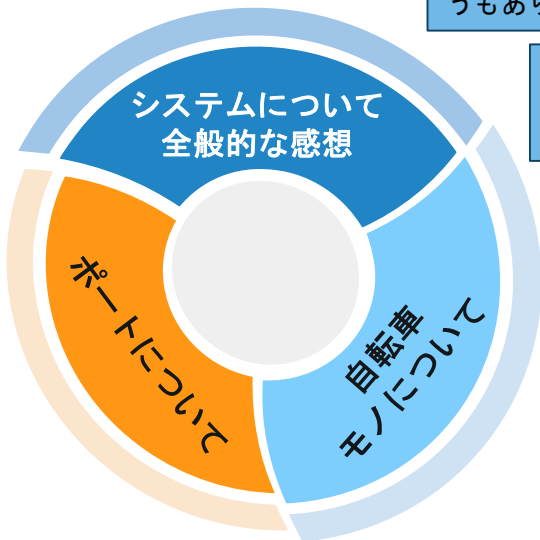
返却台数に余裕がほしい。

電車の待ち時間に急遽サクッと利用出来て満足です。待ち時間別に体験出来ることが分かる観光案内及びクーポンがあればいいなと思いました。

小学3年生の子供をもつ母です。町内在住です。子供と一緒に自転車の練習をしたくて借りました。なかなか一緒に乗る機会がなく、学校でマナー講習を受けてはきていますが、結局心配で公園のなかなど限られた場所ではしか乗せてあげられません。実際街を走ると危険だらけで、親にとっても新しい発見だらけでした。事実、息子も私と自転車で走れて、楽しかった、安心できた、またいこう、見ててね！など、プラスな言葉を貰いました。ぜひまた利用したいと思います。

おすすめサイクリングコースの紹介、スマホホルダー設置、スタンプラリーなどあれば便利かと思います。

シェアサイクルを使うのは初めてだったのですが、大いに活用させていただき、みなかみ滞在を楽しむことができました。この利用を機に他の地域でもシェアサイクルを使うこと前提で観光プランを立てるようになりました。またみなかみを訪れた際はecobikeを使いたいと思います。どうもありがとうございました。



温泉を回るのに便利に使わせていただいています。シェアサイクルがあることで水上へ行こうと思う機会も増えました。

鍵や自転車そのものなどのハードウェアのトラブルが起こりやすいと感じたので、そのケアをしっかりといただけると嬉しい。安全な自転車に乗りたい。

もう少し若い人に乗りたいたいと思わせるような格好良い色や土地に合わせたデザインなどの工夫をしてもらいたい。

もう少しおしゃれなデザインの自転車があると良い。

台数をもっと増やしてほしい。

4 実証実験 総括

4-1 実証実験の評価

【利用者の評価】

3年目の実証実験であったが、利用開始から順調に会員数を伸ばし、1日あたり約9.6回の利用があった。

今後の利用については96%の人が「利用したい」と回答したことから、利用者に好評のサービスであったと言える。

【公共交通の機能補完の役割】

利用回数をポート別に比較すると、「JR水上駅」を発着地とする利用が65%を占めており、駅から目的地までの移動手段として公共交通の機能補完の役割を果たしたと考えられる。

【観光に有効な移動手段】

利用者アンケートでは、利用目的としては「観光」が78%を占めており、また平均利用時間が「67分08秒」と他自治体（31分4秒）と比べて利用時間が非常に長いことから、交通手段が限られる観光客の足として有効な手段だと期待される。

【シェアサイクルによる地域活性化】

利用者アンケートでは、シェアサイクルの利用によって「行動範囲が広がる」「観光の幅が広がる」の回答が多く、新たな流動が生まれていると考えられる。シェアサイクルの目的である「回遊性を高める」効果が期待される。

4-2 今後の課題と方向性

【ニーズに応じたポートの拡充】

利用者アンケートの「今後どのような支援があれば利用できる（利用回数が増える）か」について、56%の人が「ポートの増設、エリアの拡大」と回答しており、道の駅周辺や宿泊施設への設置を求める声が多かった。このようなニーズに応じたポートの拡充に対する検討が必要である。

【利用実績】

コロナ禍が収まってきたこともあり、平日・休日ともに安定した利用があった。今後継続した事業展開をしていくためには、さらに利用回数と利用時間を伸ばしていく必要がある。「おすすめサイクリングコースの設定」「スマホホルダーの設置」など、とくに観光客へのアプローチを推進していく必要があると考える。

【車体の入れ替え】

車体導入から約5年ほどが経過しており、サビ・汚れなどが目立ってきている。シェアサイクルの安全な運行のため車体の入れ替えを進めるとともに、認知度向上を図ることを目的にみなかみならではのデザインへの一新を検討する。